

[横浜にぎわい座]
 平成 30 年度業務報告及び収支決算
 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

- ※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業。○：共催事業
 を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
 □：定量的指標。■：定性的指標
 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市芸能センター 横浜にぎわい座
所在地	横浜市中区野毛町 3-110-1
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下3階地上13階建の地下2階から地上4階 及び地上5階部分の各一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 4,358.97㎡
開館日	平成14年4月13日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2番地
代表者	理事長 近藤 誠一
設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

【目指す姿、果たすべき役割】

第三期5年間の目指す姿を“大衆芸能が後世に受け継がれ、横浜にぎわい座が市民に愛され、その運営や事業を通じて市民生活や地域を活性化していること”、果たすべき役割を“あらゆる市民に対して、大衆芸能の持つ魅力や可能性を様々な手法を通じて働きかけること”としました。

にぎわい座の運営を担うことで、地域の活性化や、特色ある興行を目的とした来浜(=文化観光)促進などに取り組みます。大衆芸能は世代を越えて共に楽しめるジャンルです。アウトリーチなどを通じて高齢者の健康やコミュニティの活性化に資する事業を開発し、子どもについては学校教育との連携を図ります。大衆芸能はユーモアとニュアンスを含んだ豊かな日本語に触れる機会でもあり、このような特色を活かし、子どもたちのコミュニケーション力の向上や世代間交流にもつながります。にぎわい座の運営を通じて、大衆芸能を後世に継承し、その豊かな可能性を現代社会に十分に活用していくことで、横浜の魅力を高め、芸術文化を通じた市民生活の向上に貢献します。

(2) 30年度の業務の方針及び達成目標の総括

① 文化事業について

経常公演全体を安定的に実施し、社会の落語への関心の高まりを、観客創造・誘客・販売促進につなげ、大衆芸能への入り口としての役割を果たしています。今期リニューアルした「横浜にぎわい寄席」「名作落語の夕べ」の事業実績（集客、観客層の広がり、収支等）はともに目標以上となりました。また、アウトリーチや寄席体験プログラムの実施や教育機関との連携を通じて、市民や子どもたちの体験・鑑賞機会を増やし、大衆芸能と社会の関わりを深めました。

広報では、来館経験のない層や学生など若年層に訴求する手法として、ツイッターに写真を載せるなど、大衆芸能全体の知識や関心が高まる情報提供を行いました。

事業を通じて地域を盛り上げ、その魅力を伝えるためのタイアップ企画としては、野毛大道芸のプロデューサーを務めるなどした平岡正明氏を偲ぶ展示と関連公演を行いました。また、地域に根差した活動を行う市民団体等との連携を積極的に推進し、アウトリーチで若手を紹介したこともあり、小ホールでの若手育成公演も大入りとなるものが増えました。

② 施設運営について

貸館サービスの充実と利用促進のためのPR活動等、施設利用率を向上させる活動を続けています。特に30年度は「のげシャール」単独の知名度を上げるため、使いやすさを紹介する活動を行い、練習室、制作室とともに地下の諸室の利用の落ち込みに歯止めをかけることに重点的に取り組みました。

③ 施設管理について

利用者・来館者が、安心・快適に使っていただけるように管理に万全を期して営業しています。

開館16年目を迎え、経年劣化に伴う不具合等に関しても、随時適切な対処を行いました。

既定の人員配置のみに捉われず、新採用時期には必要な部門の機能強化に外部から適任人材を投入するなどし、施設運営の基盤を整えました。

④ 収支について

にぎわい会員制度のメリットを十分に活用し、主催公演のチケット販売数を増やし、自主事業収入を増収させています。事務費、エネルギー消費量を抑えて有効的、効率的に経費を執行し、事業収入を柱とした収入構造を作ることで、健全な施設経営を実現するよう努めました。

4 業務の取組と達成状況

(1) 文化事業について

ア 大衆芸能の公演、講座その他の事業の企画及び実施

[目指す成果]

- ・毎月1日から15日の経常公演を、これまでの実績を活かして確実に実施し、事業の基軸とします。リニューアル3年目の寄席形式公演「横浜にぎわい寄席」は、様々なタイアップや団体誘致を行い、落語や寄席に馴染みのない層にアピールして、観客数の増加に繋がります。
- ・リニューアル2年目の「名作落語の夕べ」は、企画性を一層高めるとともに、リピート鑑賞に向けた新たなサービスを実施します。
- ・歌丸館長が目指す「垣根なく誰もが出られる演芸場」として、所属団体・流派に捉われないバラエティ豊かな出演者により、市民の大衆芸能に対するニーズに応える公演を開催します。
- ・同じく「将来の名人を育てる道場」として若手育成を継続的に実施します。

- ・学校教育と連携し、大衆芸能の鑑賞・体験を通じて、子どもの創造性や感性を育むとともに、教育現場に関わる人々に働きかけます。市民に向けては大衆芸能ファンに限らず幅広い層に当館を知っていただき、将来の観客創造につなげます。

[成果についての振り返り]

- ・「横浜にぎわい寄席」では区民優待デー開催や団体誘致を積極的に行った結果、今年度も販売数が増えました。「こども寄席」も春休みと夏休みに行いました。多数の誘客により、こどもたちが大衆芸能に親しむ機会を増やしました。
- ・「名作落語の夕べ」は、月ごとにテーマを決めて公演するなど企画性のある公演を定着させ、チケット販売数を昨年よりもさらに増やしました。
- ・その他の企画公演も、「新春特選 ニッポンの芸」「御注文に応じます！ 文治・二楽二人会」など当館独自の公演も行い、演芸の専門館としての使命を果たしています。
- ・若手育成公演「登竜門シリーズ」は2つの新シリーズを開始しました。さらに「登竜門シリーズ」で大入りを続けている桂宮治、立川こはるの「新風落語会」出演により、二人が芸能ホール進出を近年中に果たすことを観客に印象づけました。
- ・学校連携は、昨年同様、「教育プログラム」「寄席体験プログラム（小学生対象）」、市立中学校や県内私立中学校の要請に応えた寄席体験公演や横浜遠足での落語鑑賞会を実施しました。横浜能楽堂との連携事業「狂言と落語」コラボレーション公演、『『革命』寄席 featuring 平岡正明』の公演と展示などを行い、演芸ファン以外の市民の来館を促しています。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>◇幅広い大衆芸能の演目の多彩な構成による魅力的な公演等の企画・実施</p>		
<p>経常公演事業</p>	<p>経常公演事業</p>	
<p>① 毎月1日から15日まで芸能ホールで自主事業を連日開催</p>	<p>□年間 200 公演以上開催。</p>	<p>□年間212公演開催（うち2公演は16日以降）。</p>
<p>② 所属団体・流派等に捉われないバラエティ豊かな出演者により、市民ニーズを満たす公演内容</p>	<p>□合計入場者 月平均 3,300人以上。</p>	<p>□合計入場者数 月平均3,877人（年間46,527人）</p>
<p>●「横浜にぎわい寄席」（毎月7回）落語と多彩な色物で寄席の芸と雰囲気を楽しめる公演。学割や子ども料金をPRし、新しい観客を招へい</p>	<p>■団体を促進するイベント（幹事向けお試し鑑賞会）の実施。</p>	<p>□8、9月に実施。市立中学、高校ほか188校のPTA役員に案内状を送付し、8校19人参加。</p>
	<p>■金沢区制70周年を記念した区民優待デーの実施。</p>	<p>□6月1～7日に金沢区制70周年を記念した区民優待デーを実施。販売数368枚（50%は初来館者）。</p>
	<p>■鉄道事業者と連携したキャンペーン企画準備。</p>	<p>■鉄道事業者との連携準備については未実施。</p>

<p>●「名作落語の夕べ」(毎月1回第一土曜日) 古典落語を4人の演者がネタ出しで口演する、落語の名作をじっくり楽しめる公演</p> <p>●企画公演(毎月8回程度) 落語・漫才・コントから喜劇や軽演劇等まで、幅広くバラエティに富んだ大衆芸能公演を日替わりで開催</p>	<p>□「こども寄席」を年間2公演開催。 □チケット販売数平均105枚以上。</p> <p>■リニューアル2年目。出演者の幅を上方落語家まで広げ、毎回企画性のある公演を実施。</p> <p>■同じ席で鑑賞できるシリーズ券を先行販売し、「名作落語の夕べ」ファンの定着を図る。</p> <p>■注目の二ツ目落語家の抜擢登用。 □チケット販売数 平均125枚以上。</p> <p>■気軽にグループで来場できる昼公演、じっくり堪能する夜公演の独演会など、「にぎわい座ならでは」「にぎわい座らしい」公演を連日開催。</p>	<p>□4月、8月に開催。各271枚、390枚(完売)の売上げ。 □全84公演のチケット販売数は合計9,362枚、一公演平均111枚(前年度比8.3%減、目標値比5.7%増)</p> <p>■5月「柳家の芸、古今亭の芸」、10月「江戸落語、上方落語聴きくらべ」、2月「古典となった創作落語特集」ほか。</p> <p>□一般前売りに先立ち、前期6公演、後期6公演のセット券を割引価格で販売。売上33セット(前期16、後期17)。</p> <p>■4月「旅の嘶特集」に春風亭柳若(二ツ目)抜擢。 □全12公演のチケット販売数は合計2,052枚、一公演平均171枚(前年度比24.8%増、目標値比36.8%増) ■公演前のチーフプロデューサーの解説が定着。</p> <p>□全116公演(月平均9.7公演)実施 ■三遊亭円楽、林家たい平、立川志らく、柳家三三ほか、人気落語家による定番の独演会、尾張万歳等の祝福芸を紹介する「新春特選 ニッポンの芸」「御注文に応じます!文治・二楽二人会」など他の会場では開催されていない、にぎわい座独自の公演を多数開催。 ■7月には立川志の輔(連続2公演)、立川談春(連続3公演)</p>
---	--	---

<p>◇創造的で発信性のある取組みの実施</p> <p>①創造・挑戦的な取り組み</p> <p>●企画公演(毎月8回程度)…再掲ネタおろしや新作の発表やシリーズ公演の実施。東京落語と上方落語の比較公演など、にぎわい座ならではの公演を実現</p> <p>●のげシャーレ公演 小ホールの小劇場的空間を活かした落語、漫才、コントなどの公演や異色のコラボレーションなど</p> <p>●近隣文化施設や団体との連携による新しい舞台作品の創造</p>	<p>■演芸の歴史的な変遷を紹介する企画公演を開催。</p> <p>■「名作落語のタベ」と連動した「上方落語会」を開催し、江戸東京落語と上方落語、それぞれの特色を紹介。</p> <p>□年間 10 公演以上開催。</p> <p>■野毛ゆかりの評論家、故・平岡正明氏を多彩な視点から紹介する公演『革命』寄席を開催。</p> <p>■29 年度に引き続き、狂言と落語のコラボレーションなどにぎわい座オリジナル公演を開催（横浜能楽堂と連携）。</p>	<p>など話題性のある公演を開催し、いずれも満席。</p> <p>■芸能ホールの企画公演では実施せず。3/21「岡大介のカンカラはやり歌」で、明治以降の風刺歌の変遷を紹介（小ホール）。</p> <p>■10/6「名作落語のタベ」、11/10「第五十九回 上方落語会」で連動企画公演開催。『書割盗人』と『だくだく』、『時そば』『時うどん』など、東西で関連する落語を四席ずつ口演。両公演チケット購入者にプレゼント進呈。</p> <p>■「立川生志落語会 ひとりブタじゃん」は、真打昇進10年の節目の年に、亡き師匠・立川談志の持ちネタを連続6公演で披露。</p> <p>□5/23・12/26「コラアゲんはいごうまん・春風亭一之輔 二人会」、3/16「大人のための寄席体験～落語のトビラ」ほか、年間17公演開催。</p> <p>■5/31『革命』寄席featuring 平岡正明」を開催。2階展示コーナーで関連展示「まちなか平岡的」（5/1-5/31）開催。</p> <p>■3/9「狂言と落語の会～人間vsもののけ 勝つのはどっちだ」を横浜能楽堂の協力を得て開催。石田幸雄ほかで狂言「蚊相撲」、三遊亭兼好「化け物使い」を上演。開演前には能楽</p>
--	--	--

<p>◇若手実演家育成の仕組みと実践</p> <p>●「登竜門シリーズ in のげシャレー」 小ホールで開催する若手芸人が研鑽を積むシリーズ公演</p> <p>○登竜門シリーズ卒業生等の活動をサポートする「にぎわい座共催公演」を新たに設定</p> <p>◇鑑賞者の拡大を図る取組、事業を支える仕組みの構築</p> <p>●市民ニーズの把握と公演および施設運営への反映</p> <p>●観客創造事業「大人のための寄席体験」 寄席の楽しさを知るトークや解説付の落語会</p>	<p>■個性的なロケーションでのアウトリーチ演芸会の実施。</p> <p>□年間 20 公演以上開催。 □入場者数平均 100 名以上。</p> <p>■真打昇進 3 年以上の演者は卒業とし、新規二ツ目の会をスタート。</p> <p>□年間 2 公演以上受け入れ。</p> <p>□全公演でのアンケートの実施。 □市民サポーター等による公演モニタリングの実施 2 回以上。公演内容だけでなく、施設全体の使い勝手、バリアフリー等の意見も収集。</p> <p>□2 回以上開催、合計参加者 80 名以上、初来館者 80% 以上。</p>	<p>堂、にぎわい座の両プロデューサーによる解説、後半は出演者とチーフプロデューサーによる座談会開催。</p> <p>■7/15本郷ふじやま公園（栄区）の古民家で「にぎわい座出前落語会」（新規）、10/27黄金町バザール2018参加で「3 ガガヘッズ出前演芸会」を実施。</p> <p>□全23公演開催。 □入場者数平均104名。</p> <p>■二ツ目・春風亭正太郎、三遊亭わん丈の独演会がスタート。</p> <p>□立川志の八落語会2公演、「泣いて！笑って！踊って年忘れ」の全3公演を受け入れ。</p> <p>□全公演でアンケートを実施 ■アンケートを全職員で共有 □1回実施。7/7「第七回 南光・南天ふたり会」で横浜商科大学の学生3名のモニタリング実施。会場アクセス、若い世代へのPR方法についてもコメントを受けた。</p> <p>□1回実施。40名、初来館者0%（アンケートから類推）。 ■3/16「大人のための寄席体験～落語のトビラ」開催、出演：柳亭市弥、春風亭昇也ほか。野毛地区街づくり会の協力を得て、野毛の名物料理を囲んで出演者と観客の交流</p>
---	--	--

<p>●貸切公演 団体からの要請により貸切公演を開催。新規顧客を開拓し、リピート鑑賞につなげる</p> <p>●にぎわい会員 チケット購入用の会員制度、スタート3年目</p> <p>◇市民の大衆芸能に関する学習活動や創作活動支援</p> <p>●寄席文化体験 動物ものまねや寄席文字など寄席に因んだワークショップ</p>	<p>□館外で開催の場合は、にぎわい座での鑑賞に繋げる企画を実施。</p> <p>□貸切公演6回以上開催、主催者の満足度4以上（5段階評価）。</p> <p>□にぎわい会員登録数10,000人達成。</p> <p>□購入履歴を活用した効果的なPRの実施。</p> <p>□にぎわいポイントカードの利用規約を改訂し、より使いやすいサービスに変更。にぎわい会員カードと統合し、リピーター作りに活用。</p> <p>□野毛山動物園と連携した「動物ものまね教室」「橘流寄席文字講座」など2講座以上の開催、受講者50名以上。</p> <p>■開港160周年プレ事業としてチーフプロデューサーを中心に大衆芸能や開港以来の横浜の街に関する講座を実施。</p>	<p>の機会を演出。</p> <p>□館外では開催せず。</p> <p>□市内法人会や私立中学校、企業OB会など6回の貸切公演を実施。うち2件が新規利用、4件がリピート利用。 主催者満足度は平均4.7</p> <p>□にぎわい会員15,565名（3/31現在）。</p> <p>□「こども寄席」「はなしか三人衆」の過去チケット購入者対象のメールニュース3回、「にぎわい寄席 金沢区民優待デー」、出前演芸会の開催に合わせて開催区の会員向けメールニュースを3回、計6回臨時配信。</p> <p>□29年度に前倒しで実施済み。招待券への交換期限を延ばし、かつ発行日からの有効期限を設定。順調に切り替え中。</p> <p>□8/21「動物ものまね教室」（共催：野毛山動物園）、8/14「橘流寄席文字講座」実施。受講者62名。</p> <p>■チーフプロデューサーが、野毛まちなかキャンパスおよび神奈川県退職公務員連盟女性部向けに実施。</p>
--	--	---

<p>○「野毛まちなかキャンパス」 野毛やその周辺の魅力を掘り起こす社会人向け大学講座に大衆芸能のコンテンツで参加。野毛地区街づくり会、横浜商科大学との共催事業</p> <p>●バックステージツアー 普段知る機会の少ない舞台裏を、寄席を楽しむミニレクチャーを交えて紹介</p> <p>●アウトリーチ 施設への来館が難しい方向けや個性的なロケーションでの実演で大衆芸能の楽しさを届ける館外活動。30年度は「子育て支援」を重点テーマに、NPO等と協働で実施</p> <p>◇子どもの創造性育成の取組み ○寄席体験プログラム（6回）</p>	<p>■企業や教育機関と連携した講座の実施。 □講座の共催開催2回以上、会場提供3回以上、職員の講師派遣2回以上。</p> <p>□一般向け（子ども向け）3回以上、団体向けオンデマンド開催5回以上。</p> <p>□子育て支援施設での実施2回以上、若手芸人の起用2回以上、アウトリーチ先の新規開拓2施設以上。</p> <p>■市民サポーター協働のモデル事業としての実施。</p> <p>■個性的なロケーションでの演芸会の実施（再掲）。</p> <p>□参加児童1,700人以上。</p>	<p>■野毛まちなかキャンパスは横浜商科大学と共催。 □11/26「バンザイ！野毛の復活」講師：チーフプロデューサー、12/3「にぎわい座を知る」講師：事業担当リーダー。共催開催2回、会場提供3回、講師派遣2回。</p> <p>□全11回実施 一般向けは2回（8/5こども向け、1/6）の開催だったが、団体向けのオンデマンドのものは9回開催（うち2回はプレレクチャー）した。（9/9大人街コン、12/3野毛まちなかキャンパス、2/3横浜10大ニュース当選者、2/10そごう落語福袋、その他5回）</p> <p>■子育て支援施設では実施せず、保土ヶ谷区、西区の子育て施設運営者と今後の実施にむけて協議。 □福祉施設、銭湯、自治会館、古民家（新規開拓）等、7施設で合計9公演実施、計15名の若手芸人を起用。 ■社会福祉法人横浜共生会、特定NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター、本郷ふじやま公園管理運営委員会との協働 ■7/15本郷ふじやま公園（栄区）の古民家で「にぎわい座出前落語会」（新規）、10/27黄金町バザール2018参加「3ガガヘッズ出前演芸会」実施。</p> <p>□6月と10月の計7日間7回実施。</p>
---	---	---

<p>近隣の小学生が落語鑑賞と寄席独特の鳴り物などを体験する公演。公益社団法人落語芸術協会との共催事業</p> <p>●横浜市芸術文化教育プラットフォーム 「学校プログラム」 市立学校に出かけて行うアウトリーチ事業</p> <p>○教育委員会、教育機関との連携事業</p>	<p>■本事業を通じた学校との情報交換など連携実施。</p> <p>□コーディネート3校以上。</p> <p>■要請に応じて実施。アウトリーチ、大衆芸能を主題にした教員向け研修会など。</p>	<p>平沼、宮谷、北方、本町・本牧、元街、浅間台、立野、富士見台、間門など、市立小学校計19校の児童1682人が参加した。</p> <p>■学校からの要請を受けて、貸切の寄席体験公演を実施。</p> <p>□5/9県立茅ヶ崎北陵高校273人、2/25市立川和中学校275人、3/12鎌倉学園中学校180人、計728人参加。</p> <p>□参加者合計2410人。</p> <p>□11/26小机小、11/27本郷小、12/13中川小、1/25池上小の計4校で実施。計397人が落語と太神楽曲芸の鑑賞や体験を行った。</p> <p>■教育委員会、市立滝頭小学校からの要請で、小学3年生を対象に落語講座実施。講師：三遊亭わん丈。</p> <p>■笹下中、師岡小の校外学習に協力。</p>
--	--	---

イ 大衆芸能に関する情報の収集及び提供

<p>[目指す成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大衆芸能に関する多様な情報を収集し、適切に提供することで大衆芸能の魅力を広く伝えます。この分野の専門施設として相談や各種照会に対応し、市民ニーズに応えます。 ・自主事業広報は、公演毎に訴求ターゲットを意識してデザインや使用ツールを改訂し、新たな鑑賞者やファンを獲得します。 ・展示事業は、大衆芸能を紹介するものに加え、NPOや近隣学校、施設との連携も交えて実施し、より多くの市民に足を運んでいただく機会とします。 <p>[成果についての振り返り]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主、貸館、他館の公演チラシを分かりやすく配架するとともに、各種受賞者を祝う看板をエントランスに設置し、関連公演のチラシを隣に置くなどして、分かりやすく手に取りやすい広報に努めました。また今年度も相談や問い合わせに対応。神戸や仙台に演芸場が生まれたことから、先行の施設としての感想を求められるなど、新聞社からチーフプロデューサーへの問い合わせも

複数ありました。また演芸人からチーフプロデューサーに専門的な質問も多くいただき、回答しています。

- ・多くの自主公演について担当者が終演直後に公演の様子をSNSで発信し、舞台の感動と余韻を伝えました。
- ・展示事業では、近隣施設、NPO、市民団体との共催（野毛山動物園写真展、黄金町バザール2018展、干支の絵展）など市民協働のもとに開催し、多くの観覧を得ました。桂歌丸館長の追悼展示を含め、全12の展示を行い、通年で情報コーナー、展示コーナーを活用しました。歌丸館長の追悼展示は一ヶ月半余りの期間で4,000人もの来場者を記録しました。

[取組内容]		[実施内容と達成状況]
<p>情報収集および提供</p>		
<p>●公演情報の収集 大衆芸能公演や市内の文化事業のチラシ、ポスターを配架</p>	<p>■より分かりやすく手に取りやすい配架方法に変更。 ■チラシラックには「スタッフのお薦めコメント」を付けて、親しみやすさを付加。 ■町内会、野毛ちかみち掲示板を活用し通行人に向けて、にぎわい座の楽しみ方を紹介。</p>	<p>■エントランスに各種受賞祝いの看板設置。 ■受賞祝いの看板横に、受賞者出演予定のチラシを配架。 ■野毛ちかみち掲示板は常にチラシを貼り替え、最新情報を掲示。</p>
<p>●公演情報の活用 企画公演等、過去の公演情報の活用</p>	<p>□電子大福帳にすべての公演情報を入力。</p>	<p>□すべての公演256件（貸切公演も含む）入力完了。 ■「名作落語のタベ」ホームページ上に特集ページを作成。30年度公演について、今後の公演のみどころ、終了した公演のアーカイブを掲載。</p>
<p>●情報提供、相談対応 専門施設として外部からの相談に対応</p>	<p>□催事開催に関する相談対応や出演者の紹介などのコーディネート30件以上。</p>	<p>■電子大福帳の一般公開用システム構築完了。公開は31年度の予定。 ■旅行代理店「外国人向け貸切公演の可能性」、横浜市広報課「広報紙に掲載するコラムの執筆落語家推薦」など。チーフプロデューサーには新聞社や演芸人からの相談もあった。 □合計22件に対応</p>

<p>広報</p> <p>●広報、ホームページ、情報発信 チラシ、ポスター、ホームページ及び SNS 等により、公演情報を提供</p> <p>●メディア懇談会 記者や編集者を対象にした懇談会を開催し、活動を紹介</p> <p>展示事業・館内演出</p> <p>●展示事業 2 階展示コーナーで常設展、</p>	<p>□にぎわい会員を対象にメールマガジンを年間 24 回以上配信。</p> <p>□Twitter を年間 400 回以上配信。</p> <p>■Twitter は公演や開館案内だけでなく、地域の行事や大衆芸能に関するミニ知識など多彩な内容で配信。</p> <p>■チラシは公演やシリーズごとに訴求対象を明確にし、それに合わせた仕様を採用。特に落語未経験者を意識した掲載内容を考慮する。</p> <p>■財団の広報・ACY グループと連携したプレスリリースの実施。</p> <p>□1 回以上開催。</p> <p>□企画展として「中島修展」「平岡正明展『平岡的』」の</p>	<p>□メールマガジン年間 31 回配信。</p> <p>□Twitter 年間 765 回配信。</p> <p>□地域の行事；20 行事 21 回 豆知識；9 回配信</p> <p>■「こども寄席」ではこどもでもわかる平易な言葉で演目のあらすじを掲載し、一般の初心者の方にもわかりやすい内容とした。また「大人のための寄席体験 落語のトビラ」では花のイラストを使用するなど、女性が手に取りたくなるようなデザインで作成した。</p> <p>□計 4 回実施（PRTIMES）。</p> <p>■10/29 市政記者発表「追悼 桂歌丸展」</p> <p>■広報よこはま 1 月号 2 面に特集掲載。落語基礎知識、にぎわい座の活動紹介など。全 155 万部発行。</p> <p>■3 月から市営地下鉄・桜木町駅ホームに沿線文化施設の広告看板掲出開始。にぎわい座も 2 面使用。</p> <p>□3/14、3/16 2 回実施。 計 8 名参加。</p> <p>□計 8 回開催 ・革命寄席公演関連展示「平岡</p>
--	--	--

<p>企画展、特別展を開催</p> <p>●館内装飾 エントランスを中心に季節の装飾を行い、来館の楽しさを</p>	<p>ほか、写真展や寄席文字展など4回以上開催。</p> <p>□「黄金町バザール 2018」サテライト展示。 □市民団体や近隣施設と連携した特別展を2回以上実施。「野毛大道芸展」「干支の絵展」など。</p> <p>■常設展も解説や展示方法を改訂し、展示の質を向上。</p> <p>□季節の館内装飾は年間10回以上展示替え。</p>	<p>正明展「平岡的」(5/1-5/31)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Colorful みっちっちが描く、たい平落語の世界 (8/4-9/16) ・中嶋修「にぎわい座を描く 2018 ～横浜にぎわい座、高座客席舞台裏～」(6/3-8/1) ・寄席文字講座関連展示 (6/16-9/15) ・追悼 桂歌丸展 (11/1-12/18) ・新春手ぬぐい展 (1/1-3/18) ・お笑いぱっちり倶楽部「歌丸賞受賞者 浜田太一展」 (2/1-2/28) ・お笑いぱっちり倶楽部会員写真展 (3/1-3/31) <p>□特別展・共催展 計4回開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野毛大道芸関連展示「野毛呑み食い交遊録 森直実写真展」(野毛大道芸実行委員会との共催、4/2-4/22) ・黄金町バザール関連展示「黄金町のアートと工芸」(黄金町エリアマネジメントセンターとの共催、9/18-10/31) ・さよなら戌年展(横浜アンデパンダン展との共催、12/22-12/31) ・「干支の絵展-亥年」(横浜アンデパンダン展との共催、1/1-1/31) <p>■企画展、特別展を途切れず開催したために、常設展は実施せず。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄席文字講座関連展示では、展示作品のプレゼントを実施。 <p>□展示替え14回</p> <p>■季節の展示は、こいのぼり、</p>
---	--	---

<p>高め、ホスピタリティ向上</p>	<p>■写真映りを意識した館内展示の実施。</p>	<p>七夕など毎月展示替えを実施。お正月は特に華やかに全館飾付。</p> <p>■1階エントランスに装飾、2階エレベーターホールに記念写真コーナー設置（常設）</p>
---------------------	---------------------------	---

ウ 街のにぎわいづくりへの寄与

<p>[目指す成果]</p> <p>地域の活性化を目的に、「野毛地区街づくり会」ほか地域の団体の活動に協力し、街のにぎわい創りに貢献します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>・飲み歩きクーポン「野毛手形」への参加や、共催事業の実施などで今年度も野毛地区と連携した取り組みを継続しました。野毛大道芸や黄金町バザール関連展示を共催で行い、街全体の盛り上がりの一助を担いました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>●野毛地区の飲食、物販業と連携したプロモーション活動</p> <p>●公演鑑賞と飲食の楽しみで相乗効果を図る取組の実施</p> <p>○野毛地区主催のイベントへの協力</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■野毛地区飲食業協同組合の「野毛通手形」（飲み歩きクーポン）に参加。</p> <p>■にぎわい座公演チケット半券提示による飲食店でのサービス提供などタイアップ実施。</p> <p>■合コン企画に参加し、新規来館者を獲得し、野毛への誘客も実現。</p> <p>■のげ茶屋（野毛地区飲食業協同組合運営）と連携し、公演鑑賞を更に楽しくする飲食サービスの提供。</p> <p>□野毛地区街づくり会内設置の「にぎわい座利用促進委員会」との共催事業の実施5公演以上。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■インバウンドを意識した内容にリニューアル。8/1から翌5/31まで取り扱い「野毛手形」に名称変更。</p> <p>■近隣ハンバーガーショップで公演チケットを提示すると割引になるサービスを通年実施。</p> <p>□9/9「神田蘭真打昇進披露公演～レビュー講談初見参」の際に、ミドル向けの合コン企画を実施、10名参加。</p> <p>■次年度のオリジナル弁当の販売に向け、関係者打合せ実施。</p> <p>□4公演実施</p> <p>■JAZZセミナー、野毛地区敬老演芸会、チャリティー寄席野毛地区カラオケ大会を共催</p>

<p>●MM21 地区からの誘客</p> <p>●その他、野毛の魅力を紹介する公演の実施</p>	<p>■野毛大道芸など地域主体のイベントへの協力。</p> <p>■MM21 地区の就業者の交流団体向けにイベントを実施し、野毛への誘客を実現。イベント実施2回以上。</p> <p>■野毛ゆかりの評論家、故・平岡正明氏を多彩な視点から紹介する公演『革命』寄席、「平岡正明展『平岡的』」を開催…再掲。</p>	<p>実施。</p> <p>■野毛大道芸関連展示「野毛呑み食い交遊録 森直実写真展」（再掲）ほか、ポスター掲示、当日パンフレット配布、SNS 配信など。</p> <p>■のげやまくん情報掲出</p> <p>■野毛地区センター「なか区ブックフェスタ のげやまくんとくま歌と読み聞かせ日ノ出サンデーズと一緒に」会場内にてチラシ配布（10/21）</p> <p>■野毛地区センターまつりにてチケットの提供（2/11）</p> <p>■野毛地区賀詞交換会引き出物にぎわい座おみやげマドレーヌ提供（1/23）</p> <p>□かもめスクール2回開催。チーフプロデューサーによる落語解説とにぎわい座での公演鑑賞（4/26、5/10）</p> <p>■5/31『革命』寄席featuring平岡正明」を開催。2階展示コーナーで関連展示「平岡正明展「平岡的」」（5/1-5/31）開催（再掲）</p> <p>■野毛大道芸関連展示「野毛呑み食い交遊録 森直実写真展」（再掲）</p>
--	---	--

エ 市民と大衆芸能をつなぐ取組

[目指す成果]

地域に根差した施設として、意欲ある市民の方に支えていただくとともに、多様な分野の市民団体やNPOとの協働により、魅力やホスピタリティにあふれ、また多方面からのアクセシビリティを実現する施設運営を行います。

[成果の振り返り]

NPO、社会福祉法人、ボランティアグループとの共催した事業を実施するほか、若い世代の視点で公演や運営のモニタリングを行いました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●にぎわいスタッフの力を活かした施設運営</p> <p>●市民サポーター、市民団体、NPOとの協働</p> <p>●職業体験、アートマネジメント実習</p>	<p>□にぎわいスタッフの声を活かすために、改善提案アンケートを年2回以上実施。</p> <p>■チケット販売促進プロジェクトの推進。</p> <p>□アウトリーチ、鑑賞者開拓、広報活動、施設へのアクセシビリティ向上、バリアフリー検証等での実績8件以上。</p> <p>■学校や学生からの要望により積極的に受け入れ。にぎわい座ならではの体験の場を提供。</p>	<p>□窓口対応業務改善提案のアンケートを10月、2月に実施</p> <p>□実績；4公演121枚。 にぎわいスタッフOBによる団体販売</p> <p>□活動実績17件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設、銭湯、自治会館、古民家（新規開拓）等、7施設で合計9公演実施（再掲）、NPO、社会福祉法人、ボランティアグループとの共催。 ・横浜商科大学の学生3名のモニタリング実施（公演、アクセス、SNS活用など） ・にぎわいスタッフOBによる団体での公演鑑賞4件実現。 ・展示も野毛大道芸実行委員会、黄金町エリアマネジメントセンター、横浜開港アンデパンダン展との共催（再掲） <p>■市立六ッ川中、軽井沢中2年生計8名に2日間の職業体験を受け入れ、演芸場の仕事を体験する機会を提供。軽井沢中1年生の職業インタビューも受け入れ。</p>

オ 都市戦略および他施設との連携

<p>[目指す成果]</p> <p>市内で開催されるフェスティバル事業等に積極的に参画します。にぎわい座の舞台芸術分野におけるポテンシャルや、ユニークネスを十分に活用し、他の施設や組織と協働で事業を実施することで、横浜独自の魅力ある事業の国内外への発信に取り組みます。</p> <p>[成果の振り返り]</p>

芸術アクション事業をはじめ、「横濱ジャズプロムナード2018」「横浜ダンスコレクション2019」に協力、横浜能楽堂や黄金町バザール、公園施設等との共催で事業を実施するなど、横浜の文化の魅力づくりに貢献しました。また、市内外の学校に、校外学習として貸切公演を提供しました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>都市政策・施設連携事業</p> <p>●横浜芸術アクション事業「ダンス」への参画、協力</p> <p>●2020年オリンピック・パラリンピック東京大会関連企画</p> <p>○「横濱ジャズプロムナード2018」運営協力</p> <p>○「TPAMー国際舞台芸術ミーティング in 横浜2019」「横浜ダンスコレクション2019」のげシャール公演共催</p> <p>●修学旅行や横浜での鑑賞機会提供。</p>	<p>■実行委員会からの要請に合わせて、連携企画、広報協力などを実施。</p> <p>■外国人による公演モニターを実施。</p> <p>■会場運営チーフに職員を派遣。</p> <p>■会場提供、運営支援、広報協力を実施。</p> <p>□修学旅行、横浜遠足 3件以上。</p>	<p>■Dance Dance Dance@横浜主催「教師のためのダンスワークショップ」会場提供 (8/6)</p> <p>□外国人見学受入 1件。</p> <p>■外国人公演モニターは未実施。</p> <p>■野毛通手形が野毛手形=MICE連携となり、参加店舗の紹介とサービス内容を日本語と英語で広報。企業イベント等で来日する団体へのPRツールとして活用されている。</p> <p>■職員1名を派遣。</p> <p>■2/2～2/17「横浜ダンスコレクション2019」のげシャール公演共催。「ダンスコネクション」「コンペティションII 新人振付家部門」「カンパニーデラシネラ～『見立てる』」</p> <p>□全11日間、17公演実施。</p> <p>■にぎわい会員向けメールニュース協力配信1回10,500件実施。</p> <p>□4件受け入れ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立笹下中学校の街歩き校外学習 (5/24) ・県立茅ヶ崎北陵高校、私立相洋中学校、私立鎌倉学園向けの貸切公演実施。

<p>●地域文化施設との連携</p>	<p>■狂言と落語のコラボレーションなど にぎわい座オリジナル公演を開催（横浜能楽堂と連携）…再掲。</p> <p>■個性的なロケーションでの演芸会の実施…再掲。</p> <p>■「黄金町バザール 2018」にサテライト展示会場として参加…再掲。</p>	<p>■3/9「狂言と落語の会～人間vsもののけ 勝つのはどっちだ」を横浜能楽堂の協力を得て開催（再掲）</p> <p>■7/15本郷ふじやま公園（栄区）の古民家、10/27黄金町高架下スタジオで出前演芸会実施（再掲）</p> <p>■黄金町バザール 2018 関連展示「黄金町のアートと工芸」共催実施(9/18-10/31) …再掲。</p>
--------------------	---	--

(2) 施設運営について

ア 大衆芸能等の公演、練習、創作その他の活動のための施設の提供

<p>[取組内容]</p> <p>① 基本的な施設の提供</p>	<p>[達成指標] [実施内容と達成状況]</p> <p>■開館予定日数・時間</p> <table border="1" data-bbox="403 353 949 548"> <tr> <td>開館 日数</td> <td>341 日 (月 2 回 施設点検で休館)</td> </tr> <tr> <td>開館 時間</td> <td>10 時～22 時</td> </tr> </table> <p>■利用料金について (平日、入場料無料時)</p> <table border="1" data-bbox="403 645 1471 1037"> <tr> <td></td> <td>10:00 ～12:00</td> <td>13:00 ～16:30</td> <td>17:30 ～22:00</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>芸能ホール</td> <td>25,600</td> <td>44,800</td> <td>70,400</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>10:00 ～12:00</td> <td>12:30 ～14:30</td> <td>15:00 ～17:00</td> <td>17:30 ～19:30</td> <td>20:00 ～22:00</td> </tr> <tr> <td>小ホール</td> <td>7,700</td> <td>7,700</td> <td>7,700</td> <td>9,600</td> <td>9,600</td> </tr> <tr> <td>練習室</td> <td>1,400</td> <td>1,400</td> <td>1,400</td> <td>1,800</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>制作室</td> <td>900</td> <td>900</td> <td>900</td> <td>1,100</td> <td>1,100</td> </tr> </table>		開館 日数	341 日 (月 2 回 施設点検で休館)	開館 時間	10 時～22 時		10:00 ～12:00	13:00 ～16:30	17:30 ～22:00			芸能ホール	25,600	44,800	70,400				10:00 ～12:00	12:30 ～14:30	15:00 ～17:00	17:30 ～19:30	20:00 ～22:00	小ホール	7,700	7,700	7,700	9,600	9,600	練習室	1,400	1,400	1,400	1,800	1,800	制作室	900	900	900	1,100	1,100
開館 日数	341 日 (月 2 回 施設点検で休館)																																									
開館 時間	10 時～22 時																																									
	10:00 ～12:00	13:00 ～16:30	17:30 ～22:00																																							
芸能ホール	25,600	44,800	70,400																																							
	10:00 ～12:00	12:30 ～14:30	15:00 ～17:00	17:30 ～19:30	20:00 ～22:00																																					
小ホール	7,700	7,700	7,700	9,600	9,600																																					
練習室	1,400	1,400	1,400	1,800	1,800																																					
制作室	900	900	900	1,100	1,100																																					
<p>② 利用料金の改訂</p> <p>③ 貸館の運営体制</p> <p>④ 要望・苦情への対応</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■小ホールと制作室のセット割引を設定。</p> <p>■利用状況を踏まえ、附帯設備セット内容変更。</p> <p>■管理担当職員 1 人を貸館メイン担当とし、舞台技術者とともに公演打合や利用相談を担当。</p> <p>■見学対応は全員で実施。</p> <p>■舞台技術スタッフは芸能ホール 3 人、小ホール 1 人を基本とし、小ホールは利用状況に応じて 2 人体制として安全管理に注力。</p> <p>■舞台技術統括責任者は経験 10 年以上、残り 4 人も経験 5 年以上。</p> <p>■貸館に関する要望、苦情はすべて副館長まで報告。</p> <p>■内容によって財団事務局や文化観光局に即時に報告。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■セット割引運用は未実施。</p> <p>■附帯設備セット内容変更は未実施。</p> <p>■貸館担当者 (メイン 1 名、サブ 1 名) 体制。</p> <p>■全員が対応することで、急な施設見学に対応。</p> <p>■達成指標の人員にプラスして、初利用の場合は舞台スタッフが 1 名専任で対応。</p> <p>■統括責任者は経験 30 年。他も条件を充足。</p> <p>■他の観客の行動に対するクレームやチケット販売方法に関する苦言あり。</p> <p>■事務局等に報告が必要な事案はなし。</p> <p>■公演中に携帯電話が鳴ることへの</p>																																								

		クレームが多く、対策として12月から芸能ホールに携帯電話抑制装置を設置。鑑賞マナーチラシを作成し、12月、1月の全主催公演で全員に配布。
--	--	--

イ 利用促進及びサービスの向上、アイデア・ノウハウの一層の活用

<p>[取組内容]</p> <p>① 利用率の向上</p> <p>② 利用の促進</p> <p>③ グッズの販売</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□目標利用率 芸能ホール：79% 小ホール：69% ＊利用可能日に対する稼働率。 練習室：70% 制作室：50% ＊利用可能時間帯に対する稼働率。</p> <p>■土日祝日の施設空き情報をホームページ、SNSで案内。</p> <p>□利用希望者施設見学受け入れ12件以上。</p> <p>□利用促進のための見学会の開催2回以上。</p> <p>□練習室利用促進のため大学のダンスサークル10団体以上に宣伝活動実施。</p> <p>□練習室、制作室の紹介ツール作成2種以上。</p> <p>□多彩な利用が可能な小ホール「のげシャレー」をクローズアップするPRを実施。ACYデータベース登録のクリエイターや市内の美大生を採用し、SI実施。</p> <p>□若手芸人公演を支援する「にぎわい座共催公演」の開催実績2件以上…再掲。</p> <p>□グッズ取扱い5種類以上。</p>	<p>□利用実績 芸能ホール：80%小ホール：63% ＊利用可能日に対する稼働率。 練習室：67% 制作室：39% ＊利用可能時間帯に対する稼働率。</p> <p>□抽選会后、土日祝日のホール空き情報をホームページで6回案内。</p> <p>□見学受け入れ19件（見学会の別日対応4件を含む）</p> <p>□芸能ホール、のげシャレーの見学会を各1回開催。当日参加者ゼロだったが、4件別日に対応し、新規利用につながった。</p> <p>□見学会お知らせを兼ねて大学5校にメールにてPRをおこなった。</p> <p>■紹介ポスターの掲示実施。</p> <p>■のげシャレーの見学会は演劇とダンス利用に特化させ、多様なステージセット、演出ができることをPRした。</p> <p>■クリエイター活用については費用対効果から見合わせた。</p> <p>□立川志の八落語会2公演、「泣いて！笑って！踊って年忘れ」の全3公演を受け入れ（再掲）</p> <p>□新発売のオリジナルグッズとして「おみやげマドレーヌ」を12月から発売。新たに絵手拭い3種、落語文房具3種を販売。書籍3種など、全11種類取扱い。正月興行で福袋を販売。</p>
--	---	---

<p>④ 1階エントランスの活用</p>	<p><input type="checkbox"/>地域イベントのインフォメーション実施 1回以上。</p> <p><input type="checkbox"/>団体用チケット販売所としての運用。</p>	<p><input type="checkbox"/>2 事業に協力し、実施</p> <p>■野毛大道芸の情報コーナー、通年で「のげやまくん」情報掲出。</p> <p>■要望に応じて、当日チケット引換所や受付等にスペースを提供。</p>
<p>⑤ 3階売店との連携</p>	<p><input type="checkbox"/>のげ茶屋とのタイアップ2回以上…再掲。</p>	<p>■貸館公演での営業、お弁当手配</p> <p>■次年度のオリジナル弁当の販売に向け、関係者打合せ実施（再掲）</p>
<p>⑥ 新たな貸出プランの開始</p>	<p><input type="checkbox"/>撮影での貸出 年2回以上。</p> <p><input type="checkbox"/>経常公演期間中の空き時間の貸出 年4件以上。</p> <p>■料金設定のないスペースでの撮影貸出の運用。</p>	<p><input type="checkbox"/>撮影利用8件。</p> <p><input type="checkbox"/>経常公演中、4件貸出し。</p> <p><input type="checkbox"/>要望なし</p>
<p>⑦ 新たな利用者サービスの開始</p>	<p><input type="checkbox"/>表方スタッフの配置サービス提供 2件以上。</p>	<p><input type="checkbox"/>表方スタッフ配置サービス2件。</p>

ウ 組織的な施設運営

<p>[取組内容]</p> <p>① 第三期提案の実行と課題解決を実現する適材適所の配置</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■人材の配置</p> <table border="1" data-bbox="403 1312 869 1805"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td>非常勤</td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>1人</td> <td>課長補佐級</td> </tr> <tr> <td>チーフプロデューサー</td> <td>1人</td> <td>課長補佐級・専門職員</td> </tr> <tr> <td>チームリーダー</td> <td>1人</td> <td>係長級</td> </tr> <tr> <td>担当リーダー</td> <td>2人</td> <td>管理運営1、事業1</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>4人</td> <td>管理2、事業2</td> </tr> <tr> <td>アルバイト</td> <td>2人</td> <td>4人2.5ポスト</td> </tr> <tr> <td>公演表方チーフ</td> <td>1人</td> <td>2人1ポスト</td> </tr> <tr> <td>にぎわいスタッフ</td> <td>30人</td> <td>最大予定人数</td> </tr> </tbody> </table>	項目	人数	備考	館長	1人	非常勤	副館長	1人	課長補佐級	チーフプロデューサー	1人	課長補佐級・専門職員	チームリーダー	1人	係長級	担当リーダー	2人	管理運営1、事業1	職員	4人	管理2、事業2	アルバイト	2人	4人2.5ポスト	公演表方チーフ	1人	2人1ポスト	にぎわいスタッフ	30人	最大予定人数	<p>■人材の配置</p> <table border="1" data-bbox="935 1312 1401 1805"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td>非常勤</td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>1人</td> <td>課長補佐級</td> </tr> <tr> <td>チーフプロデューサー</td> <td>1人</td> <td>課長補佐級・専門職員</td> </tr> <tr> <td>チームリーダー</td> <td>1人</td> <td>係長級</td> </tr> <tr> <td>担当リーダー</td> <td>2人</td> <td>管理運営1、事業1</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>4人</td> <td>管理2、事業2</td> </tr> <tr> <td>アルバイト</td> <td>2人</td> <td>3人2ポスト</td> </tr> <tr> <td>公演表方チーフ</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>にぎわいスタッフ</td> <td>28人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	人数	備考	館長	1人	非常勤	副館長	1人	課長補佐級	チーフプロデューサー	1人	課長補佐級・専門職員	チームリーダー	1人	係長級	担当リーダー	2人	管理運営1、事業1	職員	4人	管理2、事業2	アルバイト	2人	3人2ポスト	公演表方チーフ	1人	1人	にぎわいスタッフ	28人	
項目	人数	備考																																																												
館長	1人	非常勤																																																												
副館長	1人	課長補佐級																																																												
チーフプロデューサー	1人	課長補佐級・専門職員																																																												
チームリーダー	1人	係長級																																																												
担当リーダー	2人	管理運営1、事業1																																																												
職員	4人	管理2、事業2																																																												
アルバイト	2人	4人2.5ポスト																																																												
公演表方チーフ	1人	2人1ポスト																																																												
にぎわいスタッフ	30人	最大予定人数																																																												
項目	人数	備考																																																												
館長	1人	非常勤																																																												
副館長	1人	課長補佐級																																																												
チーフプロデューサー	1人	課長補佐級・専門職員																																																												
チームリーダー	1人	係長級																																																												
担当リーダー	2人	管理運営1、事業1																																																												
職員	4人	管理2、事業2																																																												
アルバイト	2人	3人2ポスト																																																												
公演表方チーフ	1人	1人																																																												
にぎわいスタッフ	28人																																																													
<p>② 施設の安全管理を実現するシフト配置</p>	<p>■勤務体制はシフト制とし、主催事業や貸館状況に応じて出勤職員、人数を決定。</p> <p>・事務室</p>	<p>■勤務体制は2シフト制とし、主催事業や貸館状況に応じて出勤職員、人数を決定。</p> <p>《基本的なパターン》</p> <p>・事務室</p>																																																												

<p>③ 大衆芸能分野の専門的人材の配置及び育成</p> <p>④ その他の人材育成、チームワーク醸成</p>	<p>A 勤務（9:30～18:15）最少2人 B 勤務（13:15～22:00）最少2人</p> <p>・受付窓口</p> <p>A 勤務（9:45～13:55）人数は状況による B 勤務（13:45～17:55）人数は状況による C 勤務（17:45～22:00）人数は状況による</p> <p>■大衆芸能分野のプロデューサーを配置。事業担当職員を専門職員として中期的に育成。</p> <p>■市民サポーターや地域連携推進のため、職員がファシリテーターとしての役割を發揮。</p> <p>■研修参加や資格取得を奨励。</p> <p>■特定の課題、テーマについて全職員が意見を言える環境づくり。</p> <p>■窓口スタッフの接客スキルの向上。</p>	<p>A 勤務（9:30～18:15）最少2人 B 勤務（13:15～22:00）最少2人</p> <p>・受付窓口</p> <p>A 勤務（9:45～13:55）人数は状況による B 勤務（13:45～17:55）人数は状況による C 勤務（17:45～22:00）人数は状況による</p> <p>・舞台技術スタッフ（委託）：利用状況による</p> <p>■大衆芸能の専門家であるチーフプロデューサー1名を配置。事業担当職員を専門職員として中期的に育成。</p> <p>■アウトリーチ先の得意分野を活かした公演実施手法など、工夫を重ねた。</p> <p>□職員、にぎわいスタッフが市や財団主催の研修に参加。救急救命、パブリシティ、広報研修など4つの研修に参加。</p> <p>□芸能ホールへの携帯電話抑制装置設置に先立ち、第三級陸上特殊無線技師免許取得1名。</p> <p>■10月に業務改善アンケートを実施。面談や研修等で意見交換</p> <p>□OJTの他、全5回の研修を実施。</p>
---	---	--

エ 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など市の重要施策を踏まえた取組

[取組内容]	[達成指標]	
① 個人情報保護・情報公開	<p>■「財団の個人情報保護に関する規程」「にぎわい座個人情報取扱マニュアル」を遵守。</p> <p>■ファックス送信や郵送の際のダブルチェックの徹底。</p> <p>■入場券販売に票券管理システムを使用し、紙ベースでの顧客情報保管を廃止。</p>	<p>■新規採用者に対する個別の個人情報研修を実施。全体研修でも全員を対象に研修実施。</p> <p>■ファックス送信や郵送の際のダブルチェックは遺漏なく実施。</p> <p>■現在、顧客（購入者）情報はセキュリティの高い外部サーバーで管理。</p>
② 人権尊重	<p>■人権研修への参加、職場内での研修実施。</p> <p>□にぎわいスタッフ向け接遇研修実施（年2回以上）</p>	<p>□職員研修で2回実施。</p> <p>□2回実施。</p>
③ 環境への配慮	<p>■施設の利用状況を細目に確認しながらの</p>	<p>■引き続き必要以外の消灯やその日の天候に</p>

<p>④ 市内中小企業優先発注</p>	<p>空調・照明のオンオフ操作による光熱水費の削減。</p> <p>■ゴミ処理有料化を軌道にのせ、ゴミの軽減と持ち帰りを促進。</p> <p>市内中小業者への発注率</p> <p>□備品・消耗品購入 90%以上</p> <p>□修繕・備品の買い替え 90%以上</p> <p>□印刷物 80%以上</p>	<p>合わせた空調の細かい設定により省エネを目指した。</p> <p>■一部の廊下では、利用者の安全確保の観点から震災後に使用中止とした箇所を増灯。</p> <p>□エネルギー使用量は削減したが、単価変動により、光熱水費は前年度に比べ5%増</p> <p>■ゴミ処理有料化は来年度以降に持ち越し。</p> <p>□備品・消耗品購入 91%</p> <p>□修繕・備品の買い替え 42%</p> <p>空調機故障修理、トランシーバー修理など、対応できる業者に限られる案件があった</p> <p>□印刷物 98%</p>
---------------------	--	--

(3) 施設管理について

ア 施設及び設備の維持保全及び管理

[取組内容]	[達成指標]	
<p>① 施設及び設備の維持保全及び管理</p>	<p>■建築設備、舞台設備の施設保守管理業務項目一覧に明記した保全管理及び点検の遺漏ない実施。</p> <p>■委託業者により設備系及び消防系の目視点検を毎日実施。</p> <p>□設備の不具合による施設貸出停止ゼロ。</p> <p>□来館者アンケートにおける施設快適性評価4以上。</p>	<p>■保全管理、点検は遺漏なく実施。</p> <p>■委託業者による設備系、消防系の目視点検は毎日実施。</p> <p>□設備の不具合による施設貸出停止ゼロ。</p> <p>□来館者アンケートにおける施設快適性評価4.44</p>
<p>② 小破修繕の着実な実行</p>	<p>■優先順位を的確に判断しての修繕、更新の実施。</p>	<p>□21件2,919,669円の修繕、更新を実施。その他、お客様の有責案件2件を実施。</p> <p>■芸能ホール還風機修理、芸能ホール空調機3台整備、冷温水発生機修理等を実施。</p>

イ 事故防止体制・緊急時（防犯）の対応・感染症対策等衛生管理

[取組内容]	[達成指標]	
<p>① 事故防止対策、緊急時（防犯）対応</p>	<p>□施設管理者有責による人身事故ゼロ。</p> <p>□サービス介助士資格取得者在籍1人以上。</p> <p>■職員及び委託業者による巡回やモニタリングにより、危険、要介護者を早期</p>	<p>□施設管理者有責による人身事故は発生せず。</p> <p>□職員の退職により、資格取得者在籍なし。</p> <p>■研修で障害者サポートのための基礎研修を実施</p> <p>■巡回や監視カメラによるモニタリングを適切に実施。日頃から窓口スタッフに館内巡回や</p>

	に発見し、適切に対応。	防災設備の観察を呼びかけ。
② 感染症対策等	<ul style="list-style-type: none"> ■施設の利用状況に合わせ、楽屋管理口 ににぎわいスタッフが常駐し、開錠 及び管理を実施。 ■職員及び委託業者による巡回で異常を 早期に発見。 ■汚物処理は感染症を念頭におき、効果 的に実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ■朝礼でその日のスケジュールに合わせた楽屋 管理口へのスタッフ配置を指示。 ■楽屋管理口のドアにマジックミラーを設置 し、入館者の目視確認を強化。 □1日5回巡回実施 ■ノロ対策グッズを常備
③ 緊急時の体制、 連絡体制	<ul style="list-style-type: none"> ■ローテーション勤務の中、予め当日の 責任者を明確にして対応。 ■自主事業や観客の多い貸館公演の日 は、出勤職員を増やして対応。原則と してリーダー以上が出勤。 	<ul style="list-style-type: none"> ■シフト作成のなかで責任者の明確化を実施 ■シフトのなかで実施

ウ 防災に関する取組

[取組内容]	[達成指標]	
① 危機管理マニュアルの整備	<ul style="list-style-type: none"> ■現行マニュアルの検証と改訂。 	<ul style="list-style-type: none"> ■事故報告基準の見直しを実施
② 避難訓練	<ul style="list-style-type: none"> □異なる設定で全職員参加の避難 訓練実施 年2回以上。うち1 回は町内会やマンション住民も 交えて実施。 	<ul style="list-style-type: none"> □2回実施 □施設外の参加希望ゼロ
③ 帰宅困難者及び避難者の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ■非常時には一時滞在施設・避難 受入施設と同等の対応を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> □実績なし

(4) 収支について

ア 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力

[取組内容]	[達成指標]	
① 利用料金収入の確保	<ul style="list-style-type: none"> ■利用率および収入目標の達 成 芸能ホール 79%、小ホール 69%、 練習室 70%、制作室 50% 収入計 21,000,000 円。 	<ul style="list-style-type: none"> □利用実績 芸能ホール：80% 小ホール：63% 練習室：67% 制作室：39% □ 19,053,150 円
② チケット受託販売	<ul style="list-style-type: none"> □受託実績 24 公演以上。 	<ul style="list-style-type: none"> □受託 42 公演。

<p>③ 自主事業収入の増収</p>	<p>■チケット取扱中であることが分かるチラシ、ポスター掲出。</p> <p>■WEB 申込みなどチケット購入方法の利便性の向上。</p> <p>□入場料収入 132,200,000 円達成。</p> <p>■団体誘致用企画(幹事向けお試し鑑賞会) 実施…再掲。</p> <p>□団体販売実績 月平均 8 団体以上。</p>	<p>□web、チラシ、ポスターにてチケット取扱いを告知。</p> <p>□チラシ配架でもチケット取扱いの有無が分かるよう工夫。</p> <p>■セット券販売 人気公演の web 抽選発売</p> <p>□ 143,468,641 円</p> <p>□8、9月実施。8校19人参加。</p> <p>□82 団体/年 月平均 6.8 団体</p>
<p>④ 協賛金の獲得</p>	<p>□協賛(現物協賛を含む) 3 件以上。</p>	<p>□協賛 3 件 助成 1 件</p>
<p>⑤ オリジナル商品開発および販売</p>	<p>□商品売上 20 万円以上。</p> <p>□オリジナルグッズ 1 種類以上。</p>	<p>□ 1,252,370 円</p> <p>□オリジナル商品「おみやげマドレーヌ」販売開始(11/1~)</p> <p>□2019 年にぎわい座福袋(正月興行)</p> <p>■地域関連書籍の取扱開始(「のげやまくんとくま」、「横浜・野毛大道芝居の日々」)</p> <p>■演芸、横浜にちなんだ商品の扱い開始(手ぬぐい、文具)</p> <p>■にぎわいスタッフによるおすすめ商品ポップの設置</p>
<p>⑥ テレビ番組収録の誘致</p>	<p>□経常公演のテレビ収録 年間 6 回以上。</p>	<p>□ 経常公演の収録 ; 2 回</p>
<p>⑦ 経費削減</p>	<p>■入札、見積もり合わせの徹底。</p> <p>■計画的なチラシ発送による郵送料の削減。</p>	<p>■入札、見積もり合わせを実施</p> <p>■同月複数件の振込がある相手先にはまとめて振込</p> <p>■チラシ発送を定期実施</p>
<p>⑧ コスト意識</p>	<p>■シフト調整、公演表方チーフ制による業務分担の見直し等による超過勤務削減。</p> <p>■超過勤務の事前申請の徹底。</p>	<p>□公演表方チーフ制による業務効率化 150 回/252 公演</p> <p>■超勤事前申請による進捗管理を実施</p>

イ 適切な収支構造および収支バランス (別紙のとおり)

平成30年度 「横浜にぎわい座」 収支予算書及び報告書

収入の部 (税込、単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	209,704,000		209,704,000	209,704,000	0	横浜市より
利用料金収入	21,000,000		21,000,000	19,053,150	1,946,850	施設利用料、附帯設備利用料
自主事業収入	143,539,000		143,539,000	147,375,812	3,836,812	公演チケット収入、講座料収入、貸切公演等の受託料収入ほか
雑入	305,000	0	305,000	4,459,996	4,154,996	
印刷代	5,000		5,000	31,370	26,370	チケット印刷代行、コピー代
自動販売機手数料	70,000		70,000	1,337,785	1,267,785	3階売店及び自動販売機売上手数料、2階グッズ売り上げ
その他(協賛金、事業負担金等)	230,000		230,000	1,665,241	1,435,241	「教育プラットフォーム」負担金、事業協賛金、広告料、ほか
収入合計	374,548,000	0	374,548,000	380,592,958	6,044,958	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	101,175,000	0	101,175,000	97,489,467	3,685,533	
給与・賃金	84,549,000		84,549,000	80,937,976	3,611,024	館長を含む。事業スタッフ、運営スタッフ、にぎスタ給与
社会保険料	8,738,000		8,738,000	9,687,550	949,550	健康保険料、厚生年金保険料、介護保険料、雇用保険料、労災保険料
通勤手当	4,475,000		4,475,000	4,531,219	56,219	
健康診断費	62,000		62,000	30,060	31,940	健康診断、福利厚生費
勤労者福祉共済掛金	48,000		48,000	54,000	6,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	3,303,000		3,303,000	2,248,662	1,054,338	
事務費	6,083,000	0	6,083,000	4,646,639	1,436,361	
旅費	100,000		100,000	95,230	4,770	出張費
消耗品費	565,000		565,000	481,000	84,000	施設運営に係る文具、用紙、消耗品購入※修繕パーツ等は管理費-修繕費
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	160,000		160,000	427,918	267,918	封筒等の増刷
通信費	850,000		850,000	892,954	42,954	郵送料、通話料、通信費
使用料及び賃借料	236,000	0	236,000	120,419	115,581	
横浜市への支払分	163,000		163,000	283,345	120,345	目的外使用料(3階売店、2階グッズ販売、自動販売機)
立替金の戻入				242,172	242,172	★自動販売機目的外使用料 立替分戻り分を明記するため、1行追加
その他	73,000		73,000	79,246	6,246	NHK受信料、CATV契約(負担分)、PCソフトライセンス料
備品購入費	900,000		900,000	81,000	819,000	設備・備品更新 ※修繕実績の一部
図書購入費	45,000		45,000	44,118	882	参考図書、新聞
施設賠償責任保険	70,000		70,000	49,850	20,150	
職員等研修費	0		0	25,834	25,834	資格取得・維持(防火防災管理者、食品衛生責任者、サービス介護士)
振込手数料	86,000		86,000	74,412	11,588	信金振込手数料
リース料	1,710,000		1,710,000	1,070,541	639,459	PC、複合機、印刷機、AED、玄関マットレンタル
委託費	580,000		580,000	166,703	413,297	マナーチラシデザイン委託 ほか
手数料	340,000		340,000	122,952	217,048	支払手数料、産廃処理料
施設広報費	200,000		200,000	742,300	542,300	施設広告掲載、施設HP改修(webアクセシビリティ対応)、施設販促物作成
雑支出(渉外費)	150,000		150,000	209,103	59,103	真打昇進、落慶式典、供花等
地域協力費	91,000		91,000	42,305	48,695	町内会費、神奈川観光協会年会費 ほか
事業費	125,770,000	0	125,770,000	133,883,378	8,113,378	
自主事業費	125,770,000		125,770,000	133,883,378	8,113,378	出演料、広報物制作費、票券システム管理料、販売手数料ほか
管理費	108,902,000	0	108,902,000	112,351,141	3,449,141	
光熱水費	15,600,000	0	15,600,000	18,197,608	2,597,608	
電気料金	11,120,000		11,120,000	13,389,333	2,269,333	ビル管理組合が契約し、使用量に応じて経費分担
ガス料金	2,750,000		2,750,000	3,140,735	390,735	ビル管理組合が契約し、使用量に応じて経費分担
水道料金	1,730,000		1,730,000	1,667,540	62,460	ビル管理組合が契約し、使用量に応じて経費分担
清掃費	10,650,000		10,650,000	9,864,000	786,000	専有部清掃費
修繕費	1,900,000		1,900,000	2,838,669	938,669	修繕委託、修繕パーツ等の調達 ※設備・備品更新は事務費-備品購入費
舞台技術費	22,862,000		22,862,000	22,861,440	560	舞台技術業務のうち、日常業務、施設維持管理に係る経費
設備保全費	39,865,000	0	39,865,000	40,607,424	742,424	
専有部管理費	39,865,000		39,865,000	40,607,424	742,424	専有部の設備管理費、警備費、機械警備費、清掃費ほか
共益費	18,025,000		18,025,000	17,982,000	43,000	ビル共用部管理費、害虫駆除費
公租公課	8,418,000	0	8,418,000	9,220,389	802,389	
事業所税	20,000		20,000	0	20,000	
消費税	8,319,000		8,319,000	9,068,000	749,000	
印紙税	71,000		71,000	118,000	47,000	契約書用
その他(法人税、電波利用料)	8,000		8,000	34,389	26,389	法人市民税、法人県民税、業務用トランシーバー電波利用料
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	24,200,000	0	24,200,000	24,200,000	0	
本部分	24,200,000		24,200,000	24,200,000	0	(前年度事業経費-事務局繰入金)×7%
当該施設分			0		0	
支出合計	374,548,000	0	374,548,000	381,791,014	7,243,014	
差引	0	0	0	1,198,056	1,198,056	